



教育支援チーム「まつ」

「まつ」通信 No.5

Cafeまつぼっくり

ーオープン 10月中旬予定ー

2012年9月14日発行

教育支援チーム「まつ」では、今年度の事業に「教師の居場所づくり」を掲げて来ました。震災後、教師たちは、学校の「子どもたちのことを第一」に考え、「自分のことは後回し」という状況が長く続いて来ました。もちろん、「仕事なのだから当然」と、そのことを当たり前のこととしてやってきているとは思いますが。だから、教師から不平や不満を聞くことはありませんでした。だからこそ心配になるし、気になるというのが「まつ」のスタンスです。時にニーズは、「声」にならずに埋もれていることもあるのです。

「まつ」の総会や理事会でも、「学校と家の往復しかなくなった教師たちは、やはり、どこか重苦しいものを感じる」「校長室などがなくなり、管理職も教師もみんな一緒という中では、ちょっとした愚痴もこぼしにくい」「研修会の帰りに、友だちと教師と話しができる場所もない」といった声があがり、「子どもたちのことを相談できる場所」「教師が集まれる場所」の確保に4月より取り組んできました。そうした中で、小友町西の坊に



住む後藤稔さんから、使わなくなって建物をお借りできることとなりました。

場所は、小友町にある伝承館に行く坂道をあがってすぐ左側です。以前には、豆腐づくりをしていたところだそうです。後藤さんのご厚意により、土地も建物も無償に近い形でお借りし、かつ内装工事の許可もいただき、現在、地元の業者さんが改装中です。オープンは10月中旬予定です。

お借りした建物の周りは広く、駐車場としても、子どもの遊び場としても使えます。建物からは、右の写真のように広田湾が望めます。環境は抜群だと思っているところです。



先日、地元のある先生が「最近、すぐに涙がでるようになった。去年はそんな感じじゃなくて、張り詰めたような気がする」と話したのを受けて、隣にいた先生が「泣いた方がいいよ。詰まっていたものが出ているんだから」と答えていました。先生達も次の段階に進んでいるのでしょう。そんな時期に、「寄り道」できる場所としてお使いいただければ、大変うれしく思います。

+++++

求む!!

「Cafeまつぼっくり」のオープンに伴い、下記のを求めております。重複を避けるためにEd.ベンチャーの事務局にて調整を行っております。提供いただける方は、Ed.ベンチャー事務局へご連絡いただき、提供の可否をご確認ください。

Ed.ベンチャー事務所連絡先 046-272-8980

【新品に近いものでご提供いただきたいもの】

掃除機 (1)、レターケース (1)、ゴミ箱 (3)、延長コード (3)、

灯油ポンプ (2)、コピー機 (1)、座敷簀・ちりとり (各1)
カップ (20、コーヒー・紅茶用)、皿小 (20、13cm程度)、
皿大 (20、20cm程度)、湯飲み (20)、コップ (20)、スプーン (20)、
コーヒーマーカー (1)、コーヒーマーサー (1)、電気ポット (1)、座布団 (15)、
お盆/トレイ (2)、やかん (1)、急須 (1)、

【中古品でもいいもの】

事務椅子 (1)、机 (椅子式 (4)・座卓式 (6)、折りたたみ式、長さ180cm程度)、
椅子 (15、折りたたみ式/重ね式)、本棚 (1、高さ180cm程度)、壁掛け時計 (3)
冷蔵庫 (1、小型・冷凍庫つき)、扇風機 (3)、電気カーペット (3、3畳タイプ)、
石油ストーブ (2、大広間用)、下駄箱 (1、20足程度入るもの)、傘立て (1)、
+++++

■交流会参加雑感■教育支援チーム「まつ」事務局長 佐々木 善仁

去る8月29日～31日の3日間、神奈川県大和市立下福田中学校のご招待で、陸前高田市立小友中学校、すたんどばいみーの三者交流会が行われ、私も参加する機会をいただいた。この交流会は、支援する側と支援される側といった枠を越え、“共にこれから社会を作るパートナー”としての関係を築いていこうという趣旨で実施された。

交流会に先立って、7月25日には下福田中の実行委員会の生徒代表3名とすたんどばいみーの代表2名がわざわざ小友中まで訪ねて招待を正式に伝え、その後下福田中の紹介DVDや、交流会の内容についての提案に関して意見交換などで両校の交流が行われた。

交流会当日は、会場となった下福田中体育館には、3年生の他、職員、PTAや地域の方が迎える中、小友中学校14名の生徒が入場。不安と緊張と期待の入り交じる中、とっても優しいまなざしと温かな拍手で出迎えられた小友中の生徒たちだった。

両校長先生の歓迎と感謝の挨拶に引き続き、両校の生徒代表の挨拶。互いの状況を語り合い、これからの両校の交流の一步として有意義な会にしたいという旨の話があった。特に、心に残ったのは、小友中の14名による構成詩と菅野さんの意見発表だ。亡くなった6人の友への思いとそれをしっかり受け止めながら夢に向かって乗り越えていこうとする力強さを感じた。すたんどばいみー代表からは、外国人ということで日本の社会で生活することの生きづらさを感じながらも、それを言葉にして行くことの大事さを述べていた。

下福田中PTAの皆さんが準備した夕食会では、小友中の生徒はホームスティする家族と懇談しながら会食、その後2人組でそれぞれのお宅にホームスティした。

翌日は、下福田中全校生徒によるお別れ会。みんなで「翼をください」を合唱して、会の幕を閉じた。

この交流会は、小友中や下福田中の生徒だけでなく、この交流会に関わった人たちにとっても、いろいろな意味で学ぶことの多い、素晴らしい会になったと思う。

教育支援チーム「まつ」

寄付を募っています。ご協力をお願いします。

銀行名：東北労働金庫 支店名：高田支店 口座番号：普通 5903255

口座名義：教育支援チーム「まつ」 代表 鈴木正彦

(キョウウイクシエンチームマツ ダイヒョウ スズキマサヒコ)

〒029-2208 岩手県陸前高田市広田町字大久保 124-1 旧広田水産高校仮設住宅 19-6
Tel/Fax:0192-56-3325 e-mail: teammatsu01@gmail.com



この事業は、赤い羽根「災害ボランティア・NPO活動サポート募金」助成を受け実施しています。